

# ぶどう通信

第15号

平成14年1月1日

新年明けましておめでとございます。昨年は大変お世話になりました。本年もよろしくお願いいたします。

皆様はどのようなお正月を過ごされたでしょうか。私たちは広島の実家でのんびりしました（本当は今、のんびりしているところです）。以前はうちの実家でも以前は「おせち料理」は手作りでしたが、今では既製品に変わりました。これも時代ですね。

さて、おせち料理もそうですが、コマ回しや凧揚げ、カルタなどをやる姿がめっきり見られなくなりましてね。日本のお正月の風景自体が変わ



ってしまったようにも思います。僕たちはやりませんが、テレビゲーム三昧が新しいお正月の形かもしれないですね。まあ、うちもテレビを見ながら寝正月が恒例になってしまいました。まあ、ゆっくり充電しています。今年も一年、よろしくお願いいたします。

## 歯が折れた！

僕たちの診療の中で、歯が残っている方の訴えとして多いのは、「歯の痛み」ではありません。実は「歯が折れた」というものです。

長年使ってきた歯の中の神経は徐々に枯れていき、小さい子が泣き叫ぶような痛みを出すことはほとんどありません。しかし、歯の根元の部分から虫歯が進行してしまうと、ある日突然、歯がポキッと折れてしまうことがあります。

折れてしまったって一番困るのは、入れ歯を支えるための歯が折れてしまい、入れ歯を修理ないしは作り直しをしなければならなくなることです。もちろんこのような時はすぐに私たちに連絡してくださいね。

ただ、残ってしまった根っこを抜かなければならないかどうかというのは意見が分かれる所です。たしかに歯ブラシでも磨きにくくなり、衛生的に問題があるのですが、麻酔をしたり、痛い（いや怖い）思いをしてみても抜かなければならないというものでもありません。つまり、根っこに蓋をするなどして衛生的な処理をしてあげばそのままでも問題ないので

このような状態は、ケースバイケースですのでその都度ご相談する

